

聴覚障害者によるデフ陸上の日本選手権は22、23日、滋賀県彦根市の平和堂H.A.T.O.スタジアムで行われ、男子走り高跳びの佐藤秀祐（平林金属、岡山市）が3連覇に挑む。来夏の世界デフ選手権の選考を兼ねた大会。昨秋の東京デフリンピック5位の22歳は「1位はもちろん、記録を狙っていく」と語り、自己ベスト更新と世界切符の獲得を目指す。

（信定佑紀）

22日から日本デフ陸上 男子走り高跳び

佐藤は岡山響学校中等部で競技を始め、同社の権5位など実績を重ねて支援で社会人2年目の23歳。同年の世界デフ選手権で競技を始め、同社の権5位など実績を重ねて支援で社会人2年目の23歳。

024年から女子走り高跳び元日本代表の福本幸味（味わった悔しい思いが、監督（49）の指導を受けさらなる成長を促す。メと戦えない」と佐藤。29

世界切符獲得へ「記録更新狙う」

年の次回アテネデフリンピックでの雪辱を誓い、4年計画で心身と技術を鍛え直している。

大会記録でもある自己ベストの更新が懸かる日本選手権。佐藤は「今シーズンにはなかなか跳べないが、2年前に記録を出した大会できっかけをつかみたい」と意気込む。

主な岡山勢では、東京デフリンピック男子400m障害8位の石本龍一朗（21）岡山大も日本選手権に出場する。

日本デフ陸上選手権の男子走り高跳びで3連覇を狙う佐藤秀祐は6月、JFE晴れの国スタジアム

佐藤（平林金属）3連覇挑む

